



# 愛犬と旅行？ 気をつけるポイント おしえます。

9.1%の方が「愛犬と旅行中に体調を崩したことがある」と答えています。(アニコム損保調べ)



START

## 熱中症

5月だからと言って、油断は禁物です。気温が 20℃程度でも、車内の温度は 50℃まで上昇すると言われています。特に大型犬などが乗るラゲージスペースは熱中症を起こしやすい場所です。しつこいほどこまめに休憩をとりましょう。もし、熱中症が疑われたら、とにかく水をかけるなどし、すぐに動物病院に向かうことが重要です。

## 咬傷

犬が集まるドッグランなどでは咬みつき事故（咬傷事故）が多発します。犬同士の咬傷事故だけでなく人を咬んでしまう場合もあります。リードやマスク（口輪）をしっかりと装着することがマナーです。

## ストレス

環境の変化でいつもと違う行動をとる場合も。毛布などを持参し、安心できる環境づくりをしてあげてください。

## 寄生虫

山や田んぼには「マダニ」が潜んでいます。マダニはバベシア症という致死的な病気をはじめ、感染症を媒介することがあります。マダニを寄せ付けないよう、予防薬を投薬しておきましょう。都心部では少ない病気も、山や川では感染することがありますので注意が必要です。

## 誤飲

暖くなればバーベキューの季節。タマネギやチョコはもちろんですが、竹串の誤飲にも要注意です。河原や海岸では釣り針が落ちていることもあるため、落ちているものをくわえないように注意してください。

GOAL

